



けつえき 血液には、どのようなはたらきがあるの

い 生きていくために必要な血液

けつえき からだ
血液は、体のすみずみまでいきわたっており、わたしたちが生きていくために必要な、
たくさんのはたらきをしています。

けつえき なか せつけつきゅう はつけつきゅう けっしょうばん けつ
血液の中には、赤血球、白血球、血小板、血しょうなどがふくまれており、それぞれ
がいろいろなはたらきをしています。おもなものをあげてみましょう。

わたしたちの からだ をつくるのに必要な 栄養 や、 エネルギー をつくるのに必要な 酸素 を、
からだ はこ 体じゅうに運びます。

からだ にいらなくなったものや、二酸化炭素などを、 からだ はこ 体じゅうから運びます。

びょうき さいきん
病気のもとになる、細菌をやっつけます。

からだ ねつ はこ たいおん たも
体じゅうに熱を運び、体温を保つはたらきをします。

このように、血液はわたしたちが生きていくために必要な、たくさんのはたらきをしてい
るため、なくなると、人は命が保てなくなり死んでしまうのです。

にんげん からだ たいじゅう やく ぶん けつえき 人間の体には、体重の約13分の1もの血液がある

わたしたち人間の体には、体重の約13分の1もの血液があります。体重が39キロ
グラムの人なら、牛乳パックで約2本分、3リットルもの血液があることになります。

では、どのくらいの量の血液がなくなると、人間は死んでしまうのでしょうか。

じつは、これは、出血の量と時間に関するのです。出血がゆっくりで時間が長く、血
の量が少しずつ減っていく場合には、3分の2までは、なんとかたえることができます。

しかし、出血の血の流れが急で、短い時間に流れ出てしまうと、たった5分の1の血が
なくなっただけでも、死んでしまうことがあるのです。（監修・保志 宏）

